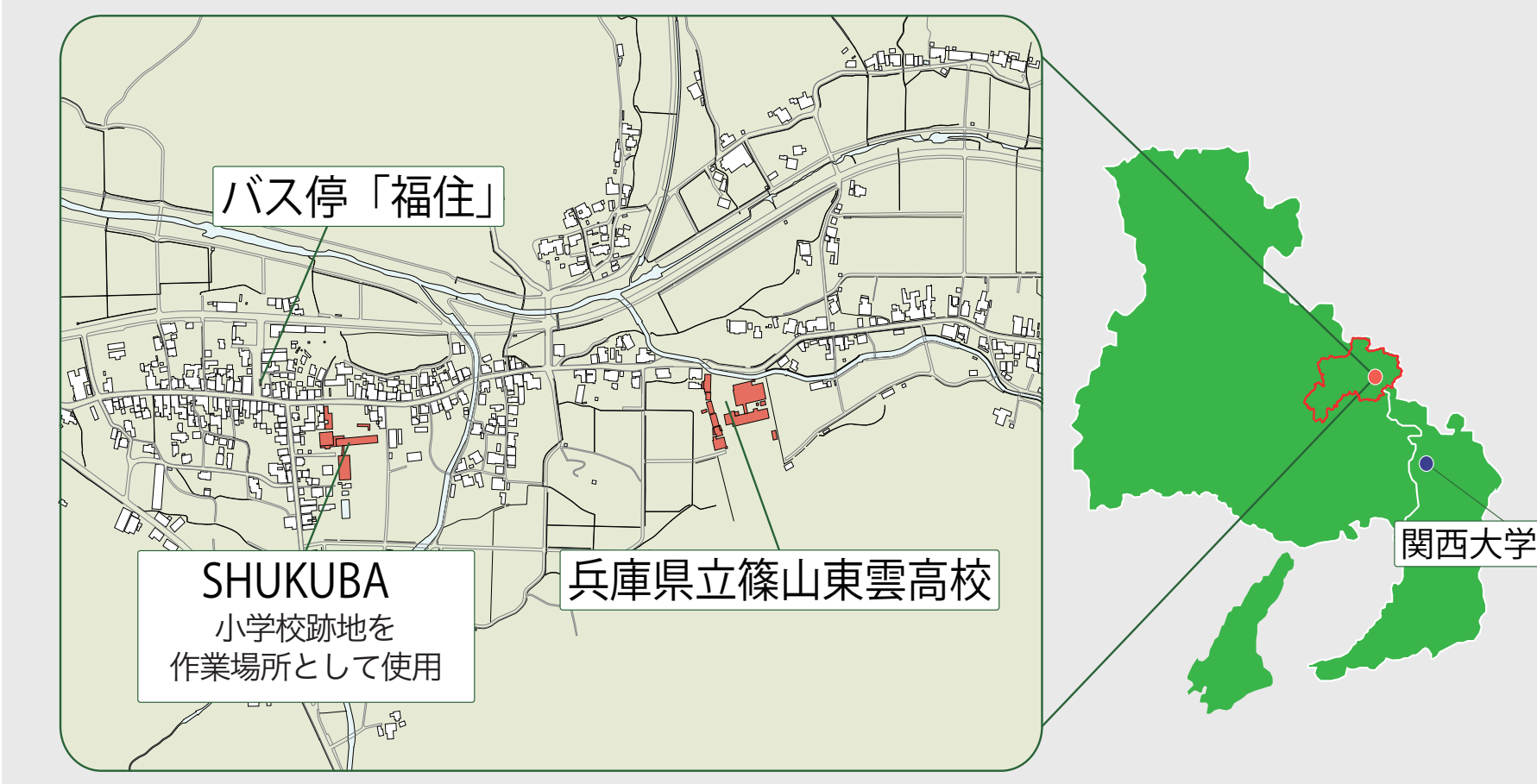


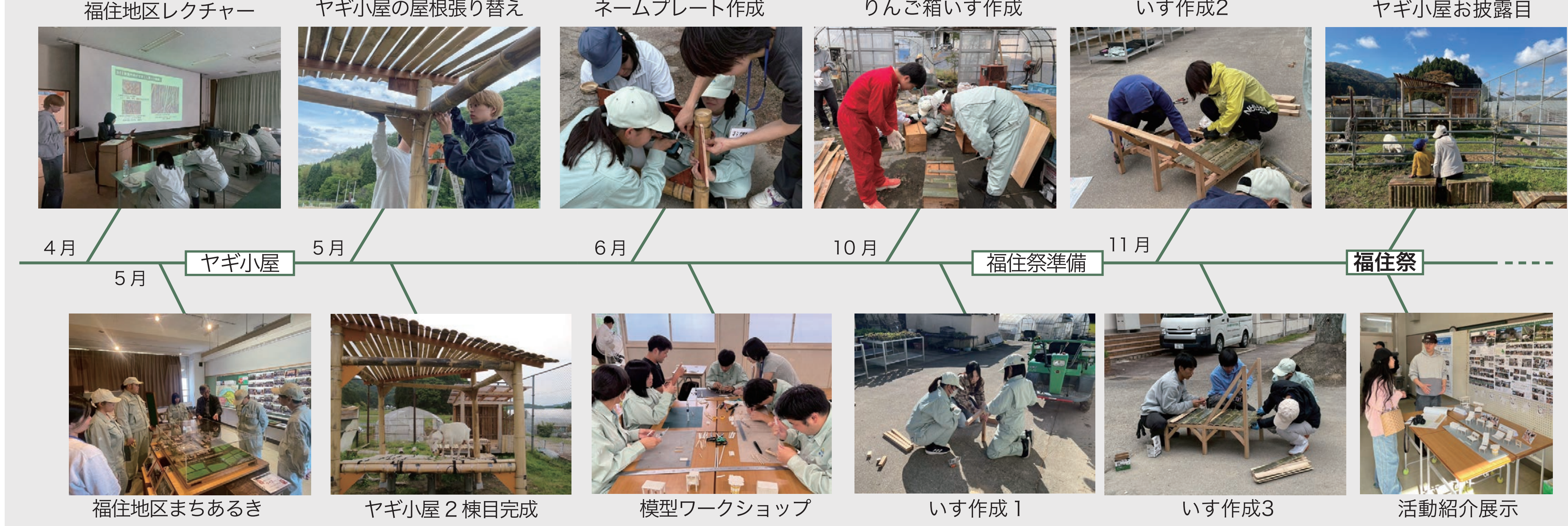


1 | 活動目的

重要伝統的建造物群保存地区「福住」ならではの、古き良き景観やデザインを学び、まちなみに調和する景観を創出すること、さらに放置竹林問題の解決に貢献し、持続可能な地域づくりを進めることを目的として、篠山東雲高校と連携し、活動している。



2 | 今年度の活動 福住祭に向けて



3 | 福住 レクチャー&まち歩き



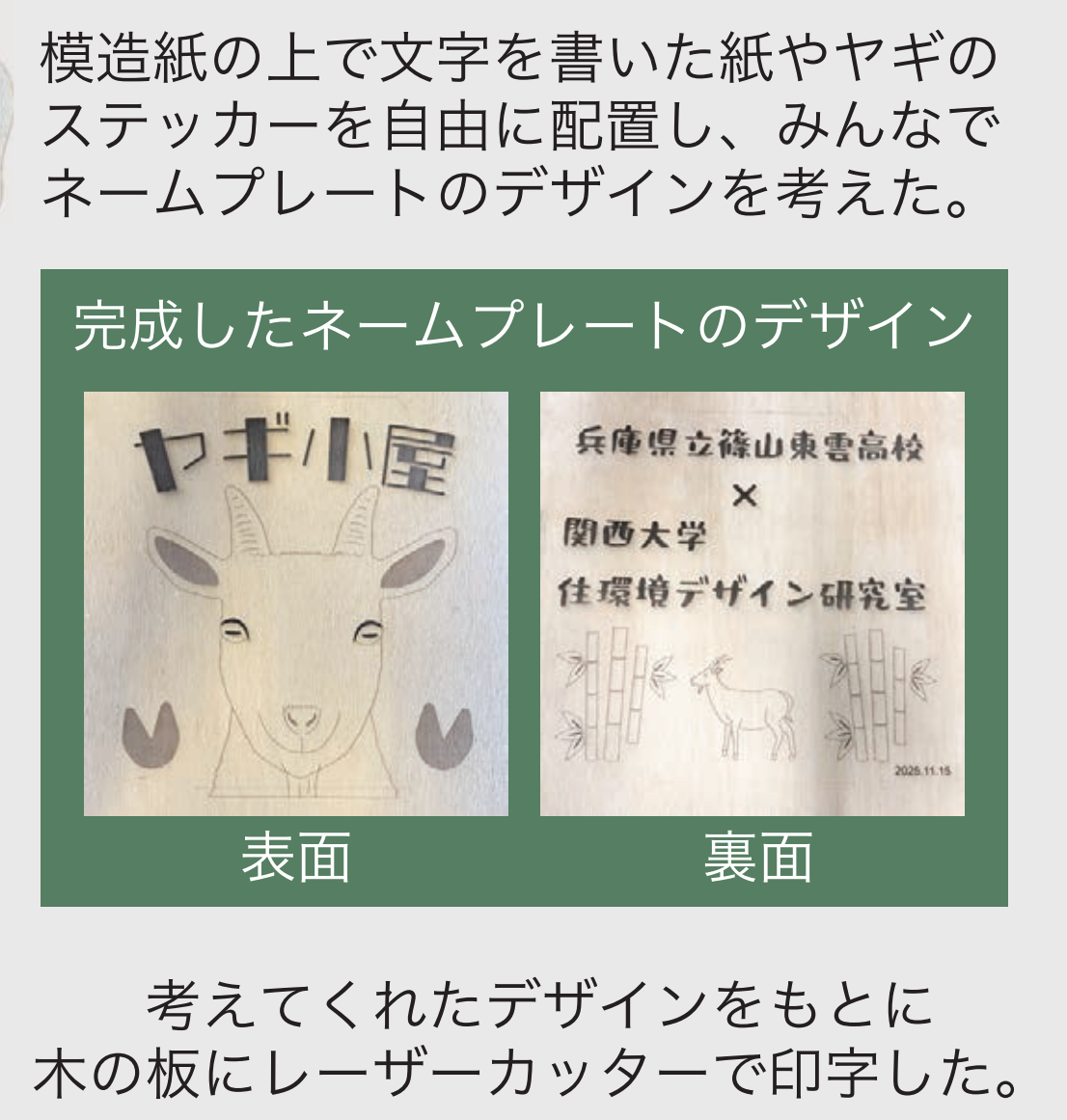
大学生から高校生へ福住の伝建地区についてのレクチャーを行った後、実際にまちを歩いて、自分たちの目でその特徴を確かめた。また、SHUKUBAにて、福住の歴史についてのレクチャーを受けた。

4 | ネームプレートのフレーム作成



福住祭を訪れる人たちにヤギ小屋の完成をお披露目するため看板を設置した。

5 | ネームプレートデザインワークショップ



考えてくれたデザインをもとに木の板にレーザーカッターで印字した。

6 | ヤギ小屋制作 (2棟目)

《小屋2棟目》構造材を竹とし、竹を容易に接合できる部材を考案。



7 | 渡橋制作

ヤギが小屋の間を往来するための段差がある渡橋に。



8 | いすデザインワークショップ

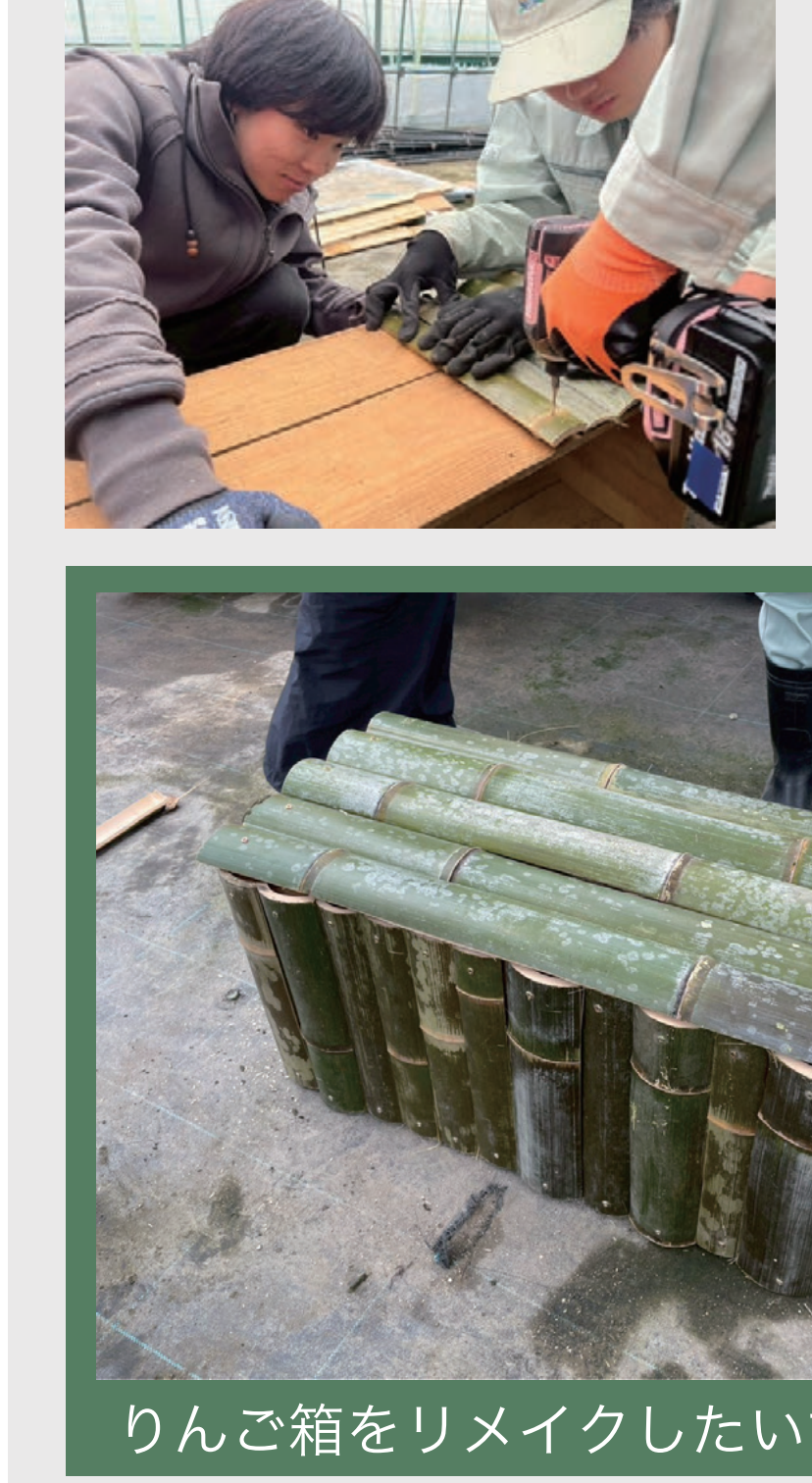
紙ストローを竹に見立て、木の角棒を用いて模型を作成しながらデザイン案を考えた。



上段：高校生が考えたデザイン
下段：高校生のデザインを元に、大学生がリデザインしたもの

9 | いす制作

●りんご箱を使ったいす製作



●模型ワークショップで考えたデザインのいす製作



10 | 福住祭

篠山東雲高校で開催された福住祭では、これまでの福住での活動についての展示と、ヤギ小屋の完成をお披露目するため、小屋前に竹のいすをつくえを設置して、休憩スペースを設営。



これまでの活動をまとめたポスターやワークショップや設計の過程で作成した模型の展示し説明をした。